

山火事注意！

山火事は空気が乾燥する3～5月に多く発生します。

原因の多くは、たき火やタバコのポイ捨てなど、火の取扱いの不注意によるものです。

- 1 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れ※をしないこと。特に枯れ草や落ち葉等の近くでは行わないこと。
- 2 やむを得ずたき火等火気を使用する場合は、消火用の水等を必ず準備するとともに、その場を離れないこと。
- 3 たき火等火気の使用後は、完全に消火すること。なお、炎が見えなくなっても火種が残っていることがあるので、十分に確認すること。
- 4 たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てはしないこと。
- 5 火遊びはしないこと。また、させないこと。
- 6 火入れ※を行う際は市町村長の許可を必ず受けるとともに、あらかじめ必要な防火対策を講じること。

※火入れ：森林内だけでなく森林から1キロメートルの範囲で、面的な焼却を行う場合は、あらかじめ市役所、町役場に相談してください。

貴重な森林を山火事から守るため、一人ひとりが気を付けましょう！！



(写真：令和5年3月 赤穂市大津での山火事)



山火事防止の
シンボルマーク
「まといりす」



【YouTube】
山火事防止映画
「りすのまとい」